

梧桐会総会

お知らせ

5月14日(日) 1時~4時



今年も母の日に、恒例の総会を開催します。今回は左記の多くの先生をお招きしましたので、高校時代の思い出に花を咲かせて下さい。また、先生方を囲んで、クラス会を開いたらいかゞでしょうか。皆様の御来校を心からお待ちしております。

旧職員
緒方浩之、鈴木英安、矢作洋、高木幸次、大畑起男、山口孝、石川哲也、池田浩也、松宮清治、中島正義、金野隆、水谷益美。

現職員
小此賀英孝、辻本正人、矢野志津、上木永生、坪田政怒、宮本哲夫、宮城元男、大島信六、中山元高、高橋清文、保田正、田島貞雄、加藤綾子、堀江通輔、田口健四郎、外(順序不同)
申込みのない先生も御出席下さい。



本校正門

昭和53年4月1日
第25号
発行所
梧桐会
品川区豊町2-1-7
(786) 3355~6
発行責任者
西林経博



会場内での1コマ

記

日時 五月十四日(日) 母の日
の日
十二時半開場。
一時から四時まで
場所 母校食堂
会費 一、〇〇〇円 食券を含む
催物 軽食・飲物の準備あり
軽音楽・その他



模擬店



思い出話にひと時を

ごあいさつ

会長 西林経博

(昭和三十三年三月卒)

梧桐会の会員諸兄姉お元気ですか。各自それぞれの分野でご活躍のことと存じます。さて今年もまた総会の季節がやってきました。我々梧桐会の役員や幹事はこれから五月の総会にかけて忙がしい時期を迎えます。数年前より、会報を総会開催の案内と兼ねて四月中に発行しようということになり会

飢肥城趾の小学校で

前学校長 長谷川美知男

会員の皆様お元気ですか。大崎高校も日常の地道な活動を通して着実な向上を続けており、大変嬉しく思っております。

昨年十月、宮崎市で開催された全国普通科高等学校校長会の後、半日程の暇が得られましたので、日南の古城飢肥(おび)を尋ねてみました。

飢肥は、宮崎市から日南海岸を南下して約二時間、静かな旧城下町です。町は美しいおび杉の山に囲まれて、その西北隅に城趾があります。小高い本丸趾、大手門、こけむした石垣などが住時を偲ば

せませんが、いわゆる城郭はなく、

長としてこれまでの長年に亘るご甚力に深く感謝します。同時に、梧桐会の指導者が一人欠けてしまったようで、本当に淋しく思う次第です。小林先生は田口先生とともに私が在学中からの先生ですから、二〇数年間大崎高校に奉職されたことになりませんが、それだけに我々梧桐会の多数の会員にとつて忘れ得ぬ人でありませう。今後はいつまでもお元氣にお過したゞき、毎年の総会には是非とも出席していただき我々を指導かつ激励して下さいようお願いします。

(昭和五十三年三月二〇日)

邪魔にもならないせいか、先生方も制止しようとはしません。のんびりした地方のおおらかさを羨ましく思うべきでしょうか、何か私には氣になる光景でした。

我が大崎高校の校庭を横切る予定の二十六号線のこと、常に私の頭から離れないためかもしれませぬ。たとえ、道路が地下式になったとしても、車の排気ガスや騒音などが教育に与える影響を心配しないわけにはいきませぬ。

昨年は、これに関する事業決定はなされてないようです。また、今年一月の品川区議会でも例の関係住民側、及び大崎高校側から提出されている二つの請願はいづれも継続審議となっております。この程度のご報告しか申し上げられないので残念ですが、今後とも宜しくご協力をお願いいたします。皆様方のご清栄の程お祈り申し上げます。(53・2・6)

本校元校長松元先生御逝去される

先生は三年前本校校長から、日比谷高等学校に榮転され、数々の実績をのこし将来を嘱望されて居りましたが、五十二年七月病氣の為永眠されました。梧桐会会員一同心からお悔み申し上げます。

本校校医依田先生御逝去される。

先生は三十六年九月から、五十二年四月までの十七年間校医として、生徒の健康の指導にあたられましたが、五十二年四月病氣の為永眠されました。梧桐会会員一同心からお悔み申し上げます。

職員の新退

〔退職〕

小林ふみ(英語)

〔転出〕

- 長谷川美知男(校長) 清瀬高校
- 八重樫健次(生物) 小石川高校
- 梅沢哲也(世界史) 葛飾野高校
- 篠田豊三(体育) 八王子東高校
- 白木義久 品川区
- 〔転入〕
- 小比賀英孝(校長) 中野四中校長

渋谷春江(生物) 新任
神山久界(世界史) 葛飾野高校
松島敏樹(保・体) 雪ヶ谷高校
登坂正寛(英語) 牛込商業高校
小林ふみ先生は、この三月をもって退職することになりました。

先生には永年顧問として梧桐会の発展に尽力下さいましたこと、会員一同心から厚く御礼申し上げます。

今後とも宜しく御指導、御鞭撻の程を御願ひ致します。

小林ふみ先生の代りに宮本先生が顧問になることになりました。

昭和五十三年度新幹事紹介
左の方々は新しく幹事になりましたので御紹介致します。

- 島村 謙二 (七二九) 六九一六
- 新田 順子 (七六四) 一四一三
- 御代田美一 (七八五) 四五八一
- 多田 淳子 (七七二) 四九五
- 小松田とも子 (七八二) 〇六九四
- 佐藤 和子 (七八一) 〇〇二四
- 上田 孝幸 (七三四) 三三三四
- 古川省由美 (〇四四) (八五五) 八四五二
- 佐野 満 (七四四) 五七五七
- 小柳津恵美子 (七七二) 九一六一
- 原本 宏司 (七八三) 九七三〇
- 穂刈みゆき (七五二) 一五三二
- 中村 滋 (七五二) 三九四五
- 中村 綾子 (七八二) 三六五五
- 高松 俊之 (七七二) 六九一五
- 赤塚美代子 (七八二) 七八六六

校地移転の経緯

第四代校長 緒方浩之

西林梧桐会長の依頼があったので、大崎高校が五反田の現在日野中学校のある土地から、戸越に移転した経緯についてその概略を述べるが、三十年も前のことで、忘れたことも色々あるかも知れない。

私は昭和二十四年六月に神代高校長から大崎高校長に転補になり、同年六月二十八日に着任した。

前任の神代高校の広大な校地や校舎に比べると、狭小な校地、小さなバラックの校舎に驚き、同じ都立高校間に雲泥の差があるのを感じた。玄關の土間で行った着任式の際、二五五名の全校生徒諸君に初めて接して、真先に私の胸を打ったのは、生徒諸君の生気に乏しく、意気消沈して、自信を喪失したような姿であった。私はこれでは、生徒諸君が余りにも可哀想で気の毒に思はれて、眼頭が熱くなったのを今でも覚えていいる。又生徒達は自分達の高校のことは他の高校の友達に話したがりないことも聞いた。この様な悪条件の教育環境のために、生徒達が劣等感を持っていてはその良い素質は伸ばせないだろうし、又人格形成にも悪影響を及ぼすのではないかと心痛した。何んとしてでも、他の高校に劣らない教育施設を改善し

て、生徒諸君が誇を持って伸びて、明るく生活出来る学園を建設せねばならないと決意した。然しその決意は言葉には出さず、たゞ私の心の中だけで、生徒諸君に強く誓った。この問題解決には、先づ広い土地を獲得することだと思つた。丁度隣地に広い土地があり、地主は売ってもよいとのことであつたので、その入手を検討した。然しその土地には、借地人達の住宅が沢山建っており、それを移転して貰うには居住者の同意と巨額の補償を必要とするので、入手は到底不可能だと判断された。随つて他に土地を求めて、移転せねばならないので、二十四年十月PTAの総会を開いて貰つて、移転の同意を得た。又戦後の混乱時に、小学校の校舎から独立して旧校舎の建設に努力された前任の山田校長にも諒解を願つた。同年夏キティ台風の襲来で校舎は甚大な被害を蒙つたので、教育庁に視察をお願いした。その夏休暇中に宇佐美教育長、次長等が視察に来校されて、教育長は、現在の所に落ち着くなら校舎の建設等改善すると約束された。教育長等の帰られた後で西本PTA会長、伊藤副会長その他の役員の方達と茶飲み話

をしていた時、伊藤副会長が戸越公園の隣地に三井不動産会社の広い土地があり、分譲するぞうだと話された、それで私は直ちに教頭

の池田先生を伴い、戸越公園にいき、広い土地の在ることを知つた。

同公園の近くの人の話では、戸越小学校の隣りにも三井不動産の広い土地があるがそこには文部省が研究所を設置することであつた。その土地は緑の大木に囲まれて、前掲の土地よりも遙るかに優れていたもので、数日後文部省に赴き、譲つて貰いたいと交渉した。

文部省は協議の結果全部は困るが三千坪なら譲つてもよいとのことであつたが、三千坪では狭いので断念した。その後目黒駅の近くに海軍大学跡の広い土地があることを耳にしたので、検分すると深い緑の森につつまれた実に立派な土地であつた。それで大蔵省に交渉したが既にアメリカ駐留軍の病院用に決定しているとのこと、結局戸越の土地より他にはないと考

え、五反田の土地、校舎は日野中学に譲ることにして、戸越の土地の買収と移転を教育庁に陳情し、同意を得たので、三井不動産会社との交渉を開始した。幸に同社の当時の総務部長江戸英雄氏(その後社長・現在会長)の教育のためだからとの特別のお骨折りで買収

出来て、翌二十五年九月には、校舎の一部が完成し、同九月末には教室等の都合で全日制だけ移転した。

私が着任して僅か一年余りで五反田の校地よりも数倍も広い六千坪の土地に移転出来るとは、着任当時には夢にも考えられなかつたことだつた。これでは着任式の際、私が心の中で生徒諸君に誓つたことを果たして、重い肩の荷をおろしたとゆう晴れ々とした感じは、終生忘れられない喜びであつた。

これはひとえに、先生達や父兄の皆様の御協力・御援助及び三井不動産会社の御協力のお陰だと感謝に堪えない。私の都立校長在任は、二十一年間で五校を歴任したが、その内大崎高校は六年間で一番長く、在任中は、校地の買収・校舎の建築・移転、その他校歌の作詞を土岐善麿先生に、作曲を信時潔先生に依頼したこと、又父兄の皆様の御出費による体育館の建設と着工迄進めた等多事多端であつたように思う。随つて、それだけ豊かになつたかしい想い出が深いのを感じる。

学校行事

卒業式

昭和五十二年度の卒業式は三月八日、午前十時より品川区文化会館で盛大に行なわれました。合計三六一名目出度く卒業されました。

本日より新しく梧桐会会員となるわけです。梧桐会の発展のため大いに活躍して下さい。大いにその若さを期待しています。

昭和五十三年度新入生

二月二十八日行なわれた新入生選考の結果本校への入学許可者は男子一七三名、女子一八八名。計三六一名が本年度第一学年の生徒として許可された。

就職決定者

(三月二十日現在)

- 第一勧業銀行 一 三菱銀行
- 全日空 一 東京ガス 一
- 日本ガス機器検査協会 一
- 出光興産 一 中外製薬 一
- 日本空港ビル 一 富士通 一
- 明電舎 一 東亜石油販売 一
- 東洋不動産 一 不動建設 一
- 立石電気 一 鎌倉書房 一
- 東洋現像所 一 荏原製作所 一
- 真樫建設 一 東京電力 一
- 電々公社 一 山崎パン 一
- 泉ポンプ製作所 一



職員のとより

大崎よ、さようなら

前教諭 小林ふみ

こゝに住みついで二十八年余！都に奉職の初めにして終りである。よくもねばったものだ。大崎高での私の生活は奉職の翌年昭和二五年の学校移転に始まる。池上線「大崎広小路」より第二京浜国道沿いにある今のTOCビルの正に裏手、日野中学校での借住居から今の戸越公園への移転の日、二百数十名の生徒(大方女生徒)が、椅子を手にしてその国道を長蛇の列をなし運んだものだ。車の雑踏など想像もつかない古きよき時代であった。思い出の一つに全校マラソンがある。矢張第二京浜を多摩川大橋附近を折返し地点として行われ、先生方が所々見張りに立って冬行われるその行事は忘れられない勇壮なものだった。時が移り交通網は過飽和状態となり、共に校舎の方も二十余年がかりで当初の予定通りで完成し、設備も会議室、図書室、食堂、プール、クラブハウス等必要最少限度とは云え満足すべきであらう。こゝで学ぶ生徒……これも随分と変わった。あの進学熱高かりし時代、そしてよく勉強してくれた時代、よく勉強する者がいると、努力せず

成績の悪いのは当然自分の責任であると自他共に考えられた時代、自分の責任と自覚出来たあの時代が懐かしい。懐古調は年を物語るのだろうか。こゝ大崎だけの経験であり比較出来ないのは残念なのだ。戸越移転の功績に輝く緒方校長先生以来八代の校長を経て教職員はめまぐるしく入れ代り、私自身は動かずに職員室内の雰囲気の変動を何度か経験し、それでも私は大崎を嫌いになったことがない。年々増える卒業生、同窓会毎に新顔にまみえ、古顔は古きまゝ、氷山の基底は変ることなくどっしりと頼もしく、立派な社会人として発展され活動される男女会員の方々との出合いは又教師ならではの経験であり、これも一人よがりを楽しんでいる。学生時代に於けるよりも同窓会場の思いがけない語らいに一しほの親近感を持つこともあって、唯一言、言葉を交わし合うだけでもつ或はお元氣なご様子を拝見出来るだけでも、十年二十年という隔たりを忘れ、心はずみ教師のよさを思ってしまう。

今では総会に出席される旧職員と、新顔の同窓生は別として古い顔触れは大体固定されており、他の都立には余り類を見ない盛況だと云われている。田口先生の助手役にもならなかった顧問として、唯名のみ連らねたに過ぎなかったが、その為多くの幹事の方々とも

腕白

前教諭 梅沢括也

接触出来、知己の多いことを思うと心豊かである。今大崎を去るに当り大崎に於ける経歴の長さの故に私こそ梧桐会の立派な一員であるとの誇りを持っている。こゝで筆を止めるに及び難く思うことは顧問田口先生の同窓会へのご尽力のことである。それは先生の情熱であり執念でもあつてあらゆる讃辞、表現を越える所のもの、所謂「サングチュアリ(聖域)」とでも云えると思う。先生のこの「同窓会愛」を思う時会員諸兄姉に紙上をもつてお伝えし、「田口先生にっゞけ」と大声で叫びたい。そして「繁栄を祈念いたしつゝ、今後ともよろしくお願い申し上げ筆を止めます。

新会員の諸君へ

現教諭 相原二三男

ところが何かの調子で、「腕白」のまま大人になり、他人の氣持をふみにじる奴がいる。この場合は子供の時のような許容される「腕白」ではないので、相手に与える心理的傷跡はますます大きくなるのである。「腕白」でもいいが、「やさしく」育つて欲しいものである。

前途に幸多かれと祈らずにはおれませんが、母校の梧桐会にも新しい会員が加わりました。私共の大先輩田口・小林(ふ)両先生がいつも忙がしそに会の仕事をされているご様子を拝見しています。若いうちは無我夢中で暮します。母校のことなど忘れてしまいがちです。然しだん／＼過去を振り返る心のゆとりが出てくると、母校や級友のことなどが憶い出されるものです。多感な高校時代は本当に人生の心の支えとなる時間でした。梧桐会は大崎に学んだ者の縁を温める憩いの場です。喜びも苦しみもその香りを校舎に残しております。

第29回卒業の新会員の皆さん。

進学者(三月二十日現在)

- 昭和五十二年度の新旧の進学者は左記のようであります。()の中の数字は旧卒業生の数であります。
- 一、国公立四年制大学
 - 東京都立大学 ()
 - 千葉大学 ()
 - 二、私立四年制大学
 - 上智大学 () 明治大学 ()
 - 早稲田大学 () 獨協大学 ()
 - 日本大学 () 神奈川大学 ()
 - 法政大学 () 東海大学 ()
 - 中央大学 () 亜細亜大学 ()
 - 東京理科大学 () 駒沢大学 ()
 - 創価大学 () 東洋大学 ()
 - 専修大学 () 明治学院 ()
 - 昭和大学 () 櫻美林大学 ()
 - 中京大学 () 鶴見大学 ()
 - 北里大学 () 大東文化 ()
 - 工学院大学 () 武蔵工業 ()
 - 相模大学 () 相模工業 ()
 - 拓殖大学 () 電機大学 ()
 - 国士館大学 () 関東学院 ()
 - 王川大学 () 東京経済 ()
 - 東京農業大 () 立教大学 ()
 - 千葉工業大 () 和光大学 ()
 - 青山学院大 () 国学院大学 ()
 - 東邦大学薬学 () 慶応大学 ()
 - 共立薬科大学 () 学習院大学 ()
 - 星薬科大学 () 立正大学 ()
 - 成蹊大学 () 芝浦工大 ()
 - 上智大学 () 成城大学 ()
 - 外短大 三三校
 - 各種学校 四六校

永い伝統と多くの先輩方によって培われて来た梧桐会を更に発展させるよう協力と支援を送って、行きましよう。級友、先輩、先生方との交誼を密接にして豊かな人生を築いていきましよう。

湧水

現教諭 堀井常三郎

八ヶ岳連峯の西岳の南西斜面に「広原」とよばれる地域がある。主脈縦走を終えて中央線の駅へ下りてくる登山者は、うんざりする位長い裾野に、この山の大きさを否応なしに味わわされるはずだが、広原はその裾野の中の一つである。以前はその名の如く一面の草原であったが、今はカラマツ、アカマツ、ウラジロモミなどの森林地帯である。私は七年程前からふとした機縁で毎年出かけているが、もっとも気に入っているのは「湧水」のあることである。昼なお暗い森の中から清冽な水が滾々と湧き出ているのである。いちばん最初に偶然発見したときの驚ろきと歓びは大変なものであった。森の中に水路がひいてあるので、しばらく川上に辿ってみると、突然それが消えて大きな石組の下から水が湧き出ている。樹令百年以上の杉の太木が傍に生えており、小さな石の罎が置いてある。泉の中をぞくと、湧き出る水の勢いで砂がむくむくと盛り上っている

のが判った。ああ！その水のなんと冷たかったことよ。この湧水は森の中を通り抜けて下の田畑の灌漑用水となっているが、相当古くから、恐らく江戸時代以前から使われているようである。その後いくつか見つけたが、その中に「稗の底庵村跡」というのがあり、高冷地の生活の厳しさを物語るかのようである。それでも八ヶ岳の東側と異なり、部落や田畑がかなり高地にまで延びあがっているのは、この湧水の故である。夏になると私はこの泉の傍で焚火をしてそうめんを茹で、ざるに入れて流れてひたし、食べるのを楽しんでみている。森の中の水路は幾筋にもなっていて流れ、人一人通れる程の小路がそれに沿っている。静寂そのもので、時には野うさぎやいたちにはったり出会い、気の毒なくらい先方があわてて逃げてゆく。小動物達にもここはオアシスなのである。

《新名簿》

新名簿は漸く出来ました。五〇〇部注文しまして現在残は二〇〇部よりありません。注文時は一冊一五〇〇円でありましたが、今後二〇〇〇円でお願ひすることに致しました。
新名簿を作るにあたって約五年の歳月と、一、六〇〇、〇〇〇円の費用がかかりました。名簿五〇

〇冊代が一、三〇〇、〇〇〇円、資料集め連絡、整理等で三〇〇、〇〇〇円です。一冊平均送料入れて三三〇〇円にあたる訳ですが。皆様の日常の寄附などがありますので一冊の代価を二〇〇〇円減くことに決定致しました。

名簿の内容は完全とはいえませんが、今日新住所が変更になりました。明日は又住所が変更になるという昨今であります。新名簿は作られました今でも住所の変更は続いているでしょう。

昭和四十五年に名簿は作られました。その当時は、町名の変化、郵便番号の新設、それに加えまして住宅難のための住所の絶えざる移動の中でありました。それにもかかわらず作成にあたりました当時の数名の幹事諸君には心から敬意を表します。

新名簿作成の幹事連はその後を引きつぎました。第一は新旧住所郵便番号の確認であります。一口に新旧住所の確認といいますが日本全国に散在している卒業生六〇〇〇名の調査ですから大変です。調査にもれた者は今でも新名簿に昔の住所が書いてあるかも知れません。又郵便番号は人口増加にもなつて番号の種類は増加致します。当時報を六〇〇〇通送つても返送されるものは一〇〇〇部にも上りました。

これをさけるため次の方法をとりました。

(1) 家族の協力によって本人の住所を確かめること。

(2) (クラス会) (同期会) に御願ひして、参加者名簿を戴くこと
(3) 同級生などに御願ひして、本部に住所を連絡しない者はするよう。

など出来るだけ色々な方法を考えて努力しました結果最近では会報八〇〇〇部発送中返送されるものは約一五〇部から二〇〇部に減少しました。しかし名簿の中の余白の多いこと等を考えますと今までの方法だけでは十分とはいえませんが、それにはどうしても皆様の協力がなければなりません。

① 個人の住所変更のときは必ず本部に新住所を連絡すること。
連絡しきれないと、幹事は多大の時間、体力、費用を使用してそれを発見するまで努力しています。
② (クラス会) (同期会) がありました時は必ず名簿を本部に送ること。

住所の変更を本部に連絡するときは次のようにお願ひします。
(1) 新旧姓名、新住所、郵便番号、電話番号。
④ 卒業年度、卒業時の担任名。
⑤ 名簿を持参のときは、頁数。

尚現在の名簿は卒業生全員で一冊になっていますが、年度によって分冊にした方がよいという意見もありますので、此の点については目下研究中であります。

て下さい。名簿作成の節は多数の広告を出していただき、紙上に厚く御礼申し上げます。(係)

学校行事

五十三年度の学校行事は次のように決定しましたので、皆さんの御来校を御待ちしています。

一 体育祭・六月七日
体育祭は六月七日(水)の予定であります。雨天のときは次日に延期することがありますから念のため。

二 プール開き
プールは例年のように七月二十九日(土)八月五日(土)八月十二日(土)の三日間。午後一時より四時まで許可されることと思ひます。皆様の御来校を待っています。

三 学園祭 九月二日(金)・二三日(土)
例年の通り九月二十二日(金)二十三日(土)の両日に行われます。此頃の学園祭の出しものは研究発表などは至って少なくなりました。諸君の在校時代からみると少々低調になったと思ひます。又企画はせまく、作品も昔のようなのは見られなくなりました。一方先輩との交渉も少く、伝統も段々なくなつて来たようです。先輩の来校を望みます。昔の夢を再び実現して下さい。

会員の便り

小林先生をしのぶ

(41) 杉田重男

小林ふみ先生が、大崎を去られるそう。2年の時は担任で、卒業後は梧桐会の幹事会のお世話をして下さっていたので、接する機会が多い先生でした。それだけにさみしい気がします。授業中はきびしく、授業を離れるとやさしく卒業するとなつかしそくに接して下さる...そんな印象が思い浮かびます。大崎を去られても同窓会にはおいでいただけると思っています。健康にはくれぐれも気をつけて、お元気でいてほしいと思います。

(34) 金沢みつ子

昭和三十四年卒業の組、大木善昭先生を囲む私達のクラス会は三年に一度開かれます。

何故三年に一度かというのと、卒業して五、六年の間は、それぞれ、何かと変化があり、毎回目新しい楽しみもありますが、それを過ぎると、大半の人が結婚し、子育ての時期にも入ります。ですから、毎年一回ですと、出る事の出ない人もいるでしょうし、今年欠席しても来年の会で逢えるからと、気軽に欠席で来ます。それがかえって出席者を少なくするので、と考えた訳です。

クラス会が三年に一回ですと、今年欠席すれば後三年、先生はじめみな様の顔が見られないという事で、地方にお住まいの方や、よんどころない用事のある方以外のほとんどの方が都合をつけて出て来て下さいます。もちろん、それには、大木先生が遠路にもかかわらず必ず御出席下さる事にもあります。ですから毎回二十名近くの出席者があるのだと思います。今年は大木先生がしばらく外国に行かれるので、御出発前の忙しいところを御無理いただき、二月二十六日に開かれました。卒業以来何年たっても、逢ったとたんに、昔に帰り学校時代のアダ名で呼びあい、子供の事など話はずみ、時のたつのが早い午後でございました。いつかずと先、一泊旅行でクラス会が出来る様になるまでこの会を続けたいと話合っておりです。

私の近況

(31) 守屋タカ子

大崎高校の先生、在校生の皆様、お元気ですか、早いもので私が卒業致しまして二十余年過ぎました。

私の子供も今年高校三年生になりその子の友達も大崎高校のお世話になって居ります。子供達の会話の中に大崎の名前が出てくると、やはり懐しく卒業したのがつい最近の事のように感じられます。

私は現在大森の片隅に小さなスナックを経営致して居ります。妻、母、店のママ一人ツ子の私は実家の事と一人四役を出来ないながらも一生懸命こなして居ります。家庭にいらつしやる主婦專業の方にはとても想像出来ない事だと思ひます。店には独身の男性がお客様として沢山いらつしやいます。その人達の中で、中年に手のとどいた私は、"オバチャン"などと呼ばれ結構親しまれ、毎日楽しく忙しい日々を過して居ります。

高一年になる息子を持つ私は折にふれ自分の学生時代が想い出される。何もかも戦争で明け戦争で暮れる毎日の学生生活。今の若者の想像もつかない考え方の中で、それでも精一杯何かに向つて一生懸命生きて来た。それなりに希望を持って...あの時代に本当に生きる事の大切さを教えて下さった太田先生は私達が卒業後すぐ亡られてしまいました。今私の学んだ学校が都立となり益々発展してゆく様子を拝見するにつけ、太田先生のあの教育に向けられた情熱を忘れる事は出来ません。そうしたよき師にめぐり逢えた喜びは私の胸中で何時も支えとなつて生きて居ります。谷田先生にも御世話になりました。何時までもお元気で御越しの事を祈つて止みません。

(18) 井上節子 (旧姓中村)

思い出

(40) 石田貞善

現在生物関係の教員になつていが、高校時代で思い出するのは何

会計報告

	費用	52年度決算	内容	53年度予算	
歳入	繰入金計	1,391,708	前年度繰入金計 新会員入会費 總會、寄附、積立	1,204,900	会館、名簿積立 各45万円
	越会	1,438,000		1,444,000	
	繰入金計	1,531,620		400,000	
		4,359,328		3,048,900	
歳出	総幹事業務費	346,600	模擬店、アルバイト 会報印刷、送料外 会館、名簿積立 名簿500部及資料 記念品、香典等	470,000	
	事業費	194,780		245,000	
	会費	680,640		805,000	
	報告費	200,000		900,000	
	事務費	1,669,408		150,000	
	雑費	63,000		478,900	
		3,154,428		3,048,900	

アンケート

- 一、職業
- 二、趣味
- 三、思い出す人々、または事柄
- 四、もし、もう一度大崎に在学するとしたら
- 五、奇遇談
- 六、近況、その他

(26) 伏見委久子

- 一、フシミ眼鏡店勤務
- 二、読書、編物
- 六、大学生二人、高校生一人と家中の者に身長を抜かれ、高いものを取る時はまさにアキラメです。同窓会を楽しみにするのは年のせいなどひやかされながら母の目を待って居ります。

生きて来た道

(18) 山上澄(旧姓西山)

突然出筆の依頼をされ文をまとめる等最近に無い事なので何度のことわりながら、おそらく何人かわ書くはめになってしまった事と思ふ。

十八年卒(大崎高等実践女学校 当時の校名)

十八年四月 新宿文化服装学院(入学)

十九年三月 卒業、戦争もたけなわになり洋装学

十九年四月 船舶運営会に入社

二十年三月 沼津市に疎開の為 退社

同 七月 沼津にて全焼

同 八月 終戦

二十五歳 東京に戻り結婚
その後男子、女子を育て、四十九年に主人死亡、その年より蛇の目ミシンに勤務、現在に至っている。その間一日一日は長くてもあつと云う間に三十年が過ぎ、二十六歳になる息子が見合をする前夜でもある。まだ此の先も生き続けなければならぬ。将来の事は予想も出来ない。何事に出合っても自分なりに強く生きぬかねばならない気持ちになる。たまには人間も廃業したくなる。そんなにくじない事ではいけない。主人に助けられていた時代が一番仕合せだったと思う。最近簡単に離婚する話をきく。子供も何人か居りながら、子供に対して責任を持ってほしい。又もつたない話でもある。子供の将来にその様な事のない様願う。今日は過去の取纏をさせて戴いた良いチャンスでもあった。息子や娘より若い方達とお仲間させて戴いた事に感謝する次第です。(只気持の中には何時も学生時代が焼きつけられて、時が立っていない。青春時代出来るだけ良い思い出を残しておこう)

三、三年、四年生時代担任の加藤先生(他界されました)

(17) 森川さちゑ(緑川)

- 一、文化服装学院
- 二、観劇、旅行、版画、コレクション
- 三、戦後はじめての同窓会を盛りあげるため、十五年、十八年卒の有志が集い「修善寺物語」を上演、各年度屈指の役者九名競演はさすが見ものだったとか。八名の方は今どうしていられるやら、忙しい合間を舞台稽古によく集まれたものと今更ながら懐しんでいる。三十年以上も昔のことなのに台詞をおぼえているから不思議である。ちなみに私の彼は夜叉王。

四、高校生に若返へった想像も悪くありませんね……

五、現在、服装科担任中の学生の一人が五十一年度大崎高校の卒業生も仲々スマートなかわいい女性です。

六、文化出版局より著者として、新作り方シリーズ6「子供服の作り方」を出版いたしました。ご一見下されば幸いです。

(18) 宮木やゑ(吉村)

- 一、看護婦
- 二、リボンフラワー・墨絵
- 三、
- 四、受験出来るかな……
- 五、息子も同校出身ですが出張中

なので老母が拙文をかきまされた。悪しからず。

六、最近では滅多に手紙もかきませんので梧桐会の原稿をびくびくしながら書きました。私に成績のよかった姉が府立第八高女を落ちましたので府立は一つも受けさせて貰えず姉と同じ大崎に入学しました。ポロ学校と悪口ばかり云ってましたけれど、家政学はその後の人生に非常に役立ちました。頭の悪かった私は負け惜しみが強く四年生の時、渋谷の補習学校に行き、府立の連中と他流試合をしたわけですが学校差はひどいものでした。花木先生に文句を云って土曜に英語をみて貰ったりしました。数学は一步もひけはとりませんでした。小学校の頭進学クラスの中でもまれ、そして大崎で太田先生にみっちり叩きこまれたからです。太田先生はカマキリのようにやせていました。夜早稲田実業でも教えていらしたとあとででき、無理をしていらしたんだなあと思いました。十九年私は日赤の甲種看護看護婦として入学、二十一年卒業後病院船永川丸で満洲のゴロ島や、フィリッピンへ往復していきまして太田先生の亡くなったのを知らずにすごしました。十年程前から、クラス会を毎年開く様になり、私の他にもっと熱心な太田ファンがあるのを知り話がつきま

せんでした。若き受験生よ、どの時代もテストはむづかしいのである、悩みはどの年代にもあるのです。頑張りましょう。私のように五十年代になると健康に留意せねばならず、老いの悩みも沢山あります。夜も更けてきました。皆様の健康を祈りつつ、ペンをおきます。

(26) 小林奈美(杉本)

- 一、旅館業(温泉旅館・小悦)
- 二、お花作り・音楽鑑賞
- 三、一、二年先輩の方々と、夏休みに山中湖へ行つた時、始めて社交ダンスを教へていただきました。卒業後もしばらくダンスに夢中だったことを思い出します。

四、今大崎に入学できたにしても当時のような楽しい高校生活は出来ないと思います。今は勉強々々で大変ですね。

五、二十六年卒業の皆様毎年忘年会をやつて居ります。皆様御参加下さいませ、藤科先生お元気でいらっしやいますか。

(31) 岡田頼信

- 一、国家公務員(横浜税関)
- 二、海釣り・ドライブ
- 三、アロエを見る度に「パンシヨ―先生」こと田口先生がゼンクで苦しんでおられたことを思い出しておりました。昨年の総会でお会いした折、病氣はすつ

かり良くなられたとのこと安心致したした。

四、在学中は生活苦から専らアルバイトで学校もクラブ活動も中途半端で残念であった。「卓球部」でも入れていただいてもいきり「青春」を楽しみたい。

五、特になし

(31) 宮沢隆彦

一、東京都水道局特別作業隊勤務
二、登山、旅行、碁、将棋等
三、田口先生(三年間担任でした)一昨年二月の同期会が別れとなつた船木秀雄君

四、やはり昔と同じメンバーで学びたい

六、一昨年の同期会後、盛り上りもあり、同窓会に出席したかったが仕事の都合で出席出来ず残念です。今年都合がつけば是非出席したい。

一、(株)中央製図社 勤務
二、旅行
三、田口先生、小林先生、谷田先生、第二京浜国道香川までのマラソン。

(34) 清水輝夫

四、不可能なので考えたことなし
五、五月の総会にもしいけて、同期生が来れば奇遇となる
六、この四月に小学校五年と一年の男の子二人と毎日戦いをくりひろげている。すっかり御無沙汰している幹事会にせつせと通

つていた頃、母の日に同窓会をしようとして提案したことがすっかり定着して会長の西林先輩のご尽力にはただ頭のさがるおもいです

(36) 浅田陸夫

一、東洋曹達工業開発研究所
二、スキー。独身時代は度々北アルプスまで出かけたがさすが家庭を持つと家計にひびく。今は大山でがまんをしています。

三、夏期合宿、およびスキー教室特に卒業後テニス部の合宿、スキー教室に何度か随行させてもらいました。その苦しかったこと、楽しかったこと、彼等は今どうしているのでしょうか。

四、在学中は適当に遊び、適当に勉強もした。また同じ様に過し度い。クラブは又やりたい。クラブにより生涯の親友を得ました。

五、妻がテニス部の後輩でありその弟が又大崎高卒のこと。父の死に際し、十何年振りかで担任の宮本先生にお会い出来たこと。

六、長女(四才)・長男(二才)・畑付社宅・海・山が近くにあり自然の環境の中で暮らして居ます。いずれ転勤もあるだろうが、いつまでも居たいところです。

一、神社新報社記者
二、山口建史

(42)

一、主婦
二、手芸
三、田口先生、伊佐先生。
四、なし。
五、なし。
六、大崎高校と同じ田園都市線(藤が丘)に住み、子育てに専念しています。

二、草野球、他スポーツ
三、どういうわけか、同期の石井孝明、岸本新平、杉田重男、宮本博各君と今でも、くされ縁でいます。多分大崎で真面目派(?)だった絆が余程強いものだったに相違ありません。先般杉田氏の結婚式で、小林・木槻両先生にお会いし、懐しく大崎時代を想ひ出しました。在学中、各先生の人気・不人気のアンケート調査をしたことが私の唯一の実績(?)です。

四、大崎に附属大学の創立を要望し、勉強もせず重苦しかった気分から解放された。

五、多分今後あるでしょう。

六、大崎時代の数々の失恋の痛手から一生独身で……と思つていましたがいづつの間にか結婚、今では男二人のオヤジさんです。久しく東京を離れ山口県に居ましたので、すっかり大崎にも御無沙汰してしまいました。幹事の皆さん頑張つて下さい。

一、齒科医師、国立第一病院勤務(口唇外科)
二、テニス、旅行
三、田口健四郎先生。
四、こんどこそ、当時のかわいいおさげ髪の子とデートに成功してみせましょうか。

五、当時の親友田中明君は現在、神奈川県立高校の教師となっています。当時は教師には絶対ならないとあんなだけがんばつていた奴が。

一、中野区立新井小学校勤務(小学校教師)
二、登山・スキー・水泳
三、特になし。
四、勉強は好きでないからもう一度なんて思いません。三年間で結構。

五、特になし。
六、教師生活十一年目の多忙な生活を送っています。(子供たちはたくさんいいところを持っています。ですから教えられることの多い毎日です)

一、主婦
二、手芸
三、田口先生、伊佐先生。
四、なし。
五、なし。
六、大崎高校と同じ田園都市線(藤が丘)に住み、子育てに専念しています。

一、(43) 岡村 徹
二、(口唇外科)
三、田口健四郎先生。
四、こんどこそ、当時のかわいいおさげ髪の子とデートに成功してみせましょうか。

五、当時の親友田中明君は現在、神奈川県立高校の教師となっています。当時は教師には絶対ならないとあんなだけがんばつていた奴が。

一、中野区立新井小学校勤務(小学校教師)
二、登山・スキー・水泳
三、特になし。
四、勉強は好きでないからもう一度なんて思いません。三年間で結構。

五、特になし。
六、教師生活十一年目の多忙な生活を送っています。(子供たちはたくさんいいところを持っています。ですから教えられることの多い毎日です)

一、主婦
二、手芸
三、田口先生、伊佐先生。
四、なし。
五、なし。
六、大崎高校と同じ田園都市線(藤が丘)に住み、子育てに専念しています。

一、(43) 岡村 徹
二、(口唇外科)
三、田口健四郎先生。
四、こんどこそ、当時のかわいいおさげ髪の子とデートに成功してみせましょうか。

五、当時の親友田中明君は現在、神奈川県立高校の教師となっています。当時は教師には絶対ならないとあんなだけがんばつていた奴が。

一、中野区立新井小学校勤務(小学校教師)
二、登山・スキー・水泳
三、特になし。
四、勉強は好きでないからもう一度なんて思いません。三年間で結構。

五、特になし。
六、教師生活十一年目の多忙な生活を送っています。(子供たちはたくさんいいところを持っています。ですから教えられることの多い毎日です)

一、主婦
二、手芸
三、田口先生、伊佐先生。
四、なし。
五、なし。
六、大崎高校と同じ田園都市線(藤が丘)に住み、子育てに専念しています。

一、(43) 岡村 徹
二、(口唇外科)
三、田口健四郎先生。
四、こんどこそ、当時のかわいいおさげ髪の子とデートに成功してみせましょうか。

五、当時の親友田中明君は現在、神奈川県立高校の教師となっています。当時は教師には絶対ならないとあんなだけがんばつていた奴が。

一、中野区立新井小学校勤務(小学校教師)
二、登山・スキー・水泳
三、特になし。
四、勉強は好きでないからもう一度なんて思いません。三年間で結構。

《寄附金について》

皆様は寄附のお願いを致して居りましたところ多数の御協力を頂きまして有難うございました。協力者の御芳名を会報に発表する予定の所他の記事との関係上発表がおそくなりました。此の号で発表させて頂きます。なお寄附金をお寄せ頂いた方で御名前が漏れている方は梧桐会まで連絡下さい。梧桐会では運営の円滑のため引続いて寄附を御願ひしています。一口五百円で何口でも結構です。梧桐会宛お送り下さい。梧桐会の銀行口座は次の通りです。

- ①第一勧業銀行戸越支店
東京都立大崎高等学校梧桐会
西林経博 口座五一六一〇六

- ②郵便振替、東京三十四六九九一
東京都立大崎高等学校

寄付金の領収書はその都度出しません。一貫して会報に発表しますからご承諾下さい。

アンケートの募集

今度の会報は、会員諸氏の近況を知りたいを目標にして作りましたが多数の応募者がありました。戦前とちがいがまして戦後は皆様の生